

令和7年度 12月補正予算案の概要

令和7年11月20日 11月市長定例記者会見 資料



補正予算案の概要



会計別	既定予算額 (9月補正まで) (A)	12月補正予算額 (B)	12月補正後予算額 (A+B)
一般会計	1,079億8,024万9千円	7億211万1千円	1,086億8,236万円
特別会計	965億3,638万3千円	89億2,652万5千円	1,054億6,290万8千円
公営企業 会計	350億3,300万円	1,497万円	350億4,797万円
合計	2,395億4,963万2千円	96億4,360万6千円	2,491億9,323万8千円

※「12月補正予算額(B)」は、議案(1)と議案(2)の補正予算額の合算値です

補正予算案の主な事業



子どもにも環境にも優しい保育園整備

債務負担行為補正 債務負担行為期間 事業費総額 1,740万円 令和7年度~28年度 4億6,950万円

脱炭素政策を推進するため、令和9年4月に移転する神田保育園(平塚市田村6丁目1444番6(地番))の、ZEB-READY認証取得を目指します。
ZEB化実現のため、当初予定していた整備内容を充実させ、空調機、断熱材等の性能(=省エネ性能)を向上させます。

主な内容・特徴

- ZEB対応の公立保育園 <mark>湘南エリア初</mark>
- 民設公営の保育園 平塚市初
- 民間リース事業者と20年間の賃貸借契約を 締結(令和9年度~28年度)
- 同時期に開園する(仮称)土沢認定こども園も ZEB-READY対応
- ➡脱炭素社会の実現に向けて取組を加速





ZEBとは?

Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、ZEB(ゼブ)。 省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、 エネルギー消費量を正味ゼロにすることを目指した建物のことを言います。

ZEB 4つの段階

	グレード	1次エネルギー 消費量の削減率	特徴	
1	ZEB	100%以上	最も高基準な建物	
2	ニアリー ゼブ Nearly ZEB	75%以上	再生可能エネルギーを利用し、ZEBに近い建物	
3	ゼブ レディ ZEB Ready	50%以上	高効率な省エネ設備を導入(再生可能エネル ギーの導入は必須ではない)	
4	ゼブ オリエンテッド ZEB Oriented	30~40%以上	ZEB Readyを見据えた大規模な建物	

平塚市は令和7年6月に、脱炭素化を進めていくために温室効果ガス排出量の削減目標を 定めた「平塚市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を改定しました。この計画の中で、 新たに建設する公共施設は原則としてZEB-Ready相当以上とすることとしています。

補正予算案の主な事業



競輪事業収益を

一般会計繰出金及び施設整備基金へ

一般会計繰出金

5,000万円

施設整備基金積立

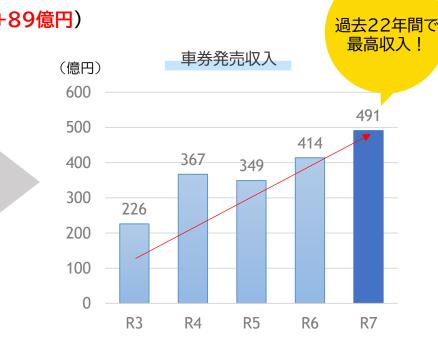
10億897万円

競輪事業収益の増加分を一般会計に繰り出し、市民サービスに活用します。

また、快適で安全な競輪場を維持するため競輪場施設整備基金に積み立てます。

平塚競輪場の収益が増加(令和7年度当初予算比+89億円)

- 入場者数と本場売り上げが、全国43競輪場で トップ!(R6年度)
- 初のナイター記念競輪で目標額を上回る、 約64億円の売り上げ
- インターネット投票で楽しむミッドナイト競輪 の売り上げ好調により、車券発売収入が 平成15年度以降最高



KEIRINグランプリ2025まで あと 44 日日





